

小学生時代の「基礎学力」が 次のステージの土台となる

小学生で勉強が苦手なお子さまは、高校受験が大変になる傾向があります。
中学生になる前の準備をガウディアから始めましょう。
計算系のプリント学習とは目指すべきもの、学習効果が違います。

なぜ？大変なのか？

【中学学習は積み上げ】です。

- ・特に数学と英語は、小学校の内容を理解している前提で授業が進むからです。
- ・分数の計算や英単語の基礎が抜けていると、中学の授業が「呪文」のように聞こえてしまうリスクがあります。

【内申点（通知表）の重要性】

- ・中1から中3の成績から高校入試の点数に加算されます。
- ・「中3から頑張ればいい」が通用しない仕組みになっています。

【学習習慣の差】

- ・家庭学習の習慣化ができていないと、部活で忙しくなると中学校生活との両立が難しくなります。



日能研全国テスト（6月開催）でお子さまの学力把握を試みましょう。

1 日能研への入室基準を超えている

- 中学受験でも対応できる力をお持ちです。
- 高校受験でも人気・地域上位校にチャレンジできる可能性を秘めています。

2 入室基準が出ない

- 苦手科目や分野の把握が来ます。
- 高校受験のための公立中学校入学後の準備を早い段階からスタートできます。
- 国語算数の学力底上げを図るために日能研で行われている「ガウディア」利用が可能です。



全国最大規模のテストで

実力が明確にわかる



単元ごとの得意・苦手が
はっきり見える！

日能研の全国テストは、過去約20,000人*が一度に受験した実績があり、全国最大規模を誇ります。多くの受験者がいるからこそ、お子さまの今の学力も、全国での位置も明確に。今後の対策にも役立ちます。

逆転するために今からできること

算数の穴を埋める

中学数学で躓く原因の多くは、小学校の「分数・小数の計算」と「割合」です。ここさえ、克服しておけば、中学の正負の数や方程式に対応できます。特に「割合」は理科の計算問題でも必須です。

読み書きの力をつけておく

全ても教科の基本は「問題文を理解すること」です。文章を読む力がないと全教科で苦戦します。

長い文章を読むのが苦手なら、短い文章の要約や音読から始めるのが効果的です。

「小さな成功」を積み重ねる

子どもの努力をほめることで、「やればできる」という自信を持たせることが受験期の粘り強さにつながります。

埼玉県は、実は全国的にも「高校入試の準備が早くから必要な県です」小画工性のうちに勉強がにがてなままだと、中学に入ってから『内申点』や『北辰テスト』といった埼玉県特有の壁にぶつかりやすいです。

考える力を身につける 100



幼児・小学生の国語・算数

埼玉県ならではの高校入試が「大変な理由」

1 中1からの成績がすべての入試に響く

中1・中2・中3すべての内申点が合否判定に使われる。「1 : 1 : 2」「1 : 1 : 3」3年生を重視しつつも1・2年分もしっかり加算されます。中1は比率は「1」ですが、ここが低いと後々厳しくなります。

2 私立高校の「確約（入試相談）システム

「北辰テスト」の偏差値や通知表の結果で事前に「合格の目安をもらう確約制度があります」

ヒント:土台となる学力は小学校～中1・2年の積み重ねで決まります。入試直前に頑張っても、基礎が抜けていると偏差値を引き上げるのが間に合わなくなります。

令和7年度情報
埼玉県 公立高校の入試のしくみ（全日制）

★令和7年度の各高校の選抜基準は、埼玉県教育委員会Webサイトに掲載されています。

②選抜の方法

■学力検査点：調査書点の割合
【第1次選抜】4：6から6：4の範囲 【第2次選抜】3：7から7：3の範囲

※一部の高校・学科・コースで第3次選抜を実施

調査書 240点

①180点 中1：中2：中3 =1：1：2	②30点	③30点
-----------------------------	------	------

①学習の記録
②特別活動等の記録
③その他の項目

例

学力検査 500点

調査書 240点

換算

第1次選抜 募集人員の60%	学力検査 500点	調査書 334点
	6	4

第2次選抜
募集人員の40%

学力検査 500点	調査書 215点
7	3

※埼玉県教育委員会「令和7年度入学者選抜実施要項・入学者選抜要領」より作成

調査書点＝内申合計ではなく、学校によって、さらに係数がかかります。

越谷北高、越ヶ谷高、越谷高合格への道のり（現実）

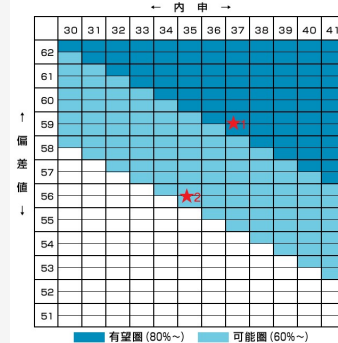
1 北辰テストの呪縛

越谷周辺の受験生は、ほぼ全員が「北辰テスト」を受けます。私立高校（叡明高校、昌平高校など）を併願する場合、この偏差値が「確約」の材料になります。小学生のうち算数・国語の基礎が抜けていると、この偏差値が40を下回ってしまい、私立の併願先が見つからないという事態になりがちです。

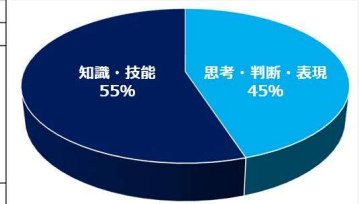


2 「内申点」の貯金が中1から必要

人気校には、学力が高いだけでなく「真面目にコツコツできる子」が集まります。中1・中2で「3」が並んでいると、中3で必死に勉強しても内申点の合計でライバルに差をつけられ、**受ける前から不利な状況**になることがあります。「提出物を出す」「授業で積極的に発言する」という当たり前のことを3年間継続する精神的なタフさが求められます。



観点別評価	合計値	評定
CCC	3	1
BCC/CBC/CCB	4	2
ACC/CAC/CCA	5	3
BBC/BCB/CBB	6	
ABC/ACB/BAC/BCA	7	
CAB/CBA/BBB	8	4
ABB/BAB/BBA	9	5
AAC/ACA/CAA		
AAB/ABA/BAA		
AAA		



3

「オール5」に近い内申点が必須越北を受ける子は、中学の通知表で「5」が当たり前、たまに「4」があるというレベルです。埼玉県は中1の内申から入試に関係します。小学校で勉強が苦手な子が、中1の最初の定期テストでいきなり「5」を並べるのは、かなりの準備（先取り学習）が必要です。「学校選択問題」という高い壁埼玉県の公立入試には、普通のテストより難しい「学校選択問題」というものがあります。越北はこの難しい方のテストを採用しています。特に数学と英語が非常に難しく、小学校レベルの基礎が1ミリでも抜けていると、中学の応用問題で手も足も出なくなります。

地域人気校への合格を獲得するには

今の時点で勉強ができなくても、中1の入学式までに「**小学校の全範囲**」を完璧に復習し、**中1の予習を終えていれば**チャンスはあります。

逆に、そのままの状態ですと、越谷北はどんどん遠のいてしまいます。

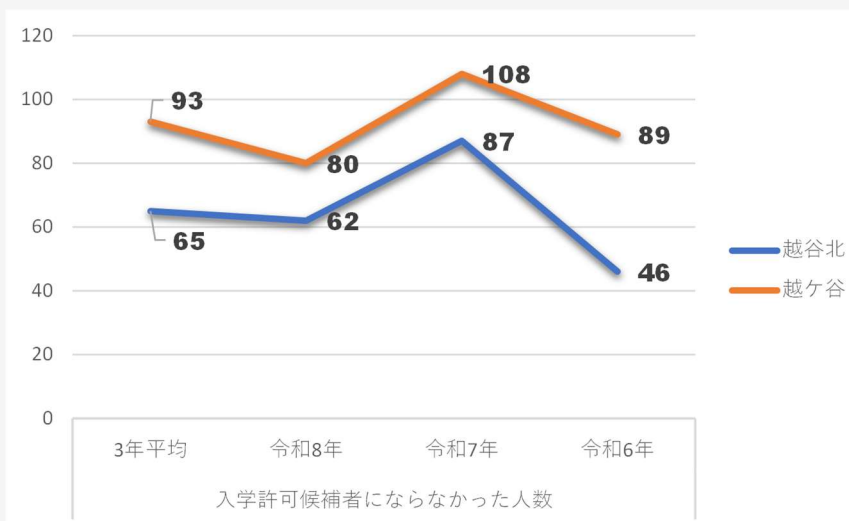
お子様は、「**難しい問題に挑戦すること**」自体は嫌いではないですか？

あるいは、「**負けず嫌い**」な一面はありますか？

もしそういった素質があるなら、きっかけ次第で化ける可能性があります。

越谷南なら大丈夫？越谷南高も、実はかなり「しっかりと準備」が必要な人気進学校です。

結論から言うと、「**小学校の勉強ができないまま**」だと、越谷南もかなり厳しいのが現実です。越谷北(偏差値67前後)よりは門戸が広いですが、越谷南も偏差値**58~61**前後を維持する必要があるからです。



公立高校入学を希望したが、私立高校に入学したであろう人数。

だから、今こそ、「日能研」ガウディアなのです！

「体験授業」で実感いただけます！



教材のこだわりポイント

→ **良質な文章に触れる**：古今東西の名作から現代の論説文まで、お子様の興味を引きつつ思考を深める厳選されたテキストが使用されています。

スモールステップで「要約」を学ぶ：長い文章も、大事なポイントを抜き出す練習から始めるため、苦手意識を持たずに「要約力」が定着します。

文法の本質的な理解：主語・述語の関係や修飾語の使い方など、文章のルールを論理的に学ぶことで、正確な日本語の運用能力が育ちます。



豊富な図解とスモールステップ

→ 新しい單元では、図やイラストを使って視覚的にイメージさせます。「分かった！」という成功体験を積み重ねる設計です。

パターン学習の打破：少しずつひねった問題が出題されるため、「前の問題と同じやり方」が通用しません。常に「この問題は何を求めているのか」を考える癖が付きまします。

記述・プロセスの重視：答えだけでなく、考え方の過程を大事にする問題が多く、中学受験の算数で求められる「論理的な記述力」の土台となります